

令和6年度 第1回今治市民提言会議 会議録

1 日 時 令和6年4月12日（金）午後3時00分～午後4時40分

2 会 場 今治市役所 第2別館11階 特別会議室4号

3 内 容

- 1 開会
- 2 市長あいさつ（代理：総合政策部長）
- 3 趣旨説明
- 4 委員のご紹介
- 5 会長・副会長の選出
- 6 会長・副会長あいさつ
- 7 議題
（1）「今治版ネウボラ拠点施設整備基本計画」について
- 8 閉会

4 出席者

＜今治市民提言会議 委員＞

井上 衣美 小笠原 孝子 越智 人史 黒瀬 晴香
原田 瑞紀 廣川 怜史 村上 嘉一 森 譲寛（会長）
八木 伸樹（副会長）

＜議事担当課＞

（ネウボラ政策課）越智課長、村上課長補佐、高橋主査

＜事務局＞

総合政策部長
（市民が真ん中課）馬越課長、渡邊課長補佐、月原係長、上甲主査

日 時 令和6年4月12日（金）15:00～16:40

場 所 今治市役所第2別館11階 特別会議室4号

※議事内容1～6および8については省略

	(議事7 議題「今治版ネウボラ拠点施設整備基本計画」について)
越智ネウボラ 政策課長	(基本理念および2年に渡り実施した各所への聞き取りによる要望を踏まえた施設の規模、機能に加え、想定される整備費用やスケジュールについて説明)
委員	事業者は具体的に決まっているか。
越智ネウボラ 政策課長	DBO方式を採用予定であり、設計から管理運営まで一体的に行える事業者を選定する。万博や能登半島地震等で大規模建設への手が回っていないとの声があるため、現時点で計画を公表し早いうちから参画事業者を募ることで実効性を高めたい。
委員	拠点施設に寄せられる代表的な意見は。
越智ネウボラ 政策課長	天候に関係なく安心して遊べる遊具や中高生が自習できる居場所となるスペースがほしい等の意見があがっており、そういった沢山の要望を今回の計画に反映している。
委員	ホール機能について、使途や公会堂等既存施設との棲み分けは。
越智ネウボラ 政策課長	子どもの発表の場として活用するなど、子育てに特化した機能を考えて他施設との棲み分けを図りたい。
	(施設の機能、規模についての意見)
委員	他市から転入してきた今治をよく知らない人や情報収集が苦手な人も、「ここに行けばよい」という子育てのアイコン的な施設ができることで利用しやすくなる。
委員	人を集めるための機能に注力し過ぎて本来の目的を見失わないようにすべきである。
委員	ネウボラ本来の機能である相談やアドバイスのできる場所として、重度心身障がい者など民間で対応が難しい方への配慮が必要と思われる。
委員	中央公民館の代替機能でもあるホール機能を拠点に含める場合は、遊休施設を含む既存施設との棲み分けも考えた上で、特色のある内容を反映できないか検討されるのが望ましい。
委員	産婦人科や病児保育など市内に対応窓口がほとんどない部分を代替できる機能があるとよい。
委員	他自治体の子育て施設と比較しても、子どもを安心して育てられるという目的を果たすために必要な機能は用意されている。
委員	利用者の安心感を生み出すネウボラの中身を充実させることが重要で、人を集める機能は小規模に留め、必要機能を兼ね備えた施設を期待する。
	(配慮すべき事項について)

委員	市内中央に設置することで遠方の市民から不満が出ないよう、例えばシャトルバスを用意する、サテライト施設をつくるなどの対策を検討されるのが望ましい。
委員	遠方から通学している高校生の待合場所や自習スペースとしての活用も期待されるため、開設時間は利用者に合わせて考えていただきたい。
委員	拠点施設に人が集うためのきっかけづくりとして、遠方に在住の市民も親子で一度は訪れる機会を設けることが必要と思われる。
委員	コミュニケーションに消極的であるなど孤立しやすい人が行きやすい機会が必要と思われる。